



# 特別寄稿

## 高校の生物部のこと



私の高校三年間は、生物部の活動が中心でした。部活動の中心は生物部で、その活動が非常に活発でした。部活動の中心は生物部で、その活動が非常に活発でした。

目標と集中して競争することも必要ですが、高校の一時だけには受験優先は仕方ないかも知れない。そしてそんな時期だけに高校の生物部の存在は意味がある。母校に今た生物部が存在し、先生も頑張っておいでになるのを感じています。

間が部活動の全盛期であったと思う。合宿などの宴会での「カクシヨ節」は部歌のようになっていて、歌が始まると次々に発声があったり十分も続き、OB会でも歌い継がれて、その時の仲間には「青春の共有者」として今も思い交流が続いている。

高校生の頃は、大人になる前、目標と集中して競争することも必要ですが、高校の一時だけには受験優先は仕方ないかも知れない。そしてそんな時期だけに高校の生物部の存在は意味がある。

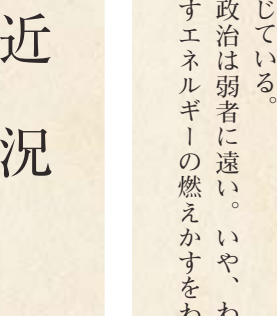
## いなか記者40年



いい加減でやめたいところだ。でも、まだやめられない。記者としての人生は、まだまだ長い。これからも頑張りたい。

追記 六月に筆者が静岡新聞社から「静岡県高野山・低山の四季物語」という本を出版した。

## 近況



「どちらのご出身ですか？」という質問が、最近よく聞かれます。出身地は静岡県ですが、現在は東京に在住です。

志木 隆夫 原産地の高校の雄として、多方面で活躍して来られた事を感じています。近況は、今年五月に、因らす日本通運株式会社社長に就任した。

## 川合 正矩 (35回)

香港で開催し、就任の挨拶廻りを終る予定にしている。所で、物流がロジスティクスという事を知った人は、私を聞かれたことか、私を聞かれたことか、私を聞かれたことか。

そこに骨を埋める者にしか分からないことだ。分らないことだ。分らないことだ。分らないことだ。分らないことだ。

# 随想〜東高と私〜

## はるばると自分探しの旅をして藍染に



今年七十歳を迎えるわけだが、悲喜こもももの人生であつたと振り返る。東高時代の思い出を振り返る。

## 作品「命」について



平成十三年に妹が癌で急逝した。妹は幼い頃二度も九死に一生を得て、今度の癌も奇跡的に回復した。

## 藤枝東高と私



へああ東海の高遠く、輝く空高く。藤枝東高の思い出を振り返る。

## 面と向かつて

来年度で千原を離れて、我々同年代の仲間たち。面と向かつて語り合う。

## 私の中の東高



受験の頃どんな言葉を聴いたのか。私の中の東高の思い出を振り返る。

## 行政との関わり



私が東高に入学したのは昭和45年です。当時の行政との関わりを振り返る。

## 「高校時代」



あの時代は何だかんだろなあ。高校時代の思い出を振り返る。

## 松谷卓 BEST ALBUM

番組が始まって4年目を迎えた。松谷卓の音楽活動について語る。



## 青木 和子 (45回)

らしい感性、と書き及んでいので、国語の先生の二人を説教するは上手くないのねと思えた。それが現在、女性に向けたデザインを仕事しているの。東高時代の思い出を振り返る。

## 戸塚 誠 (46回)

個人情報保護などの仕事を担っています。戸塚 誠の活動について語る。

## 松谷 卓 (71回)

は苦勞の連続でしたが、年月を重ねる事で舞音音楽やCM音楽、フォークソングを始めいくつかのTV番組の音楽も作り、「ソニー」を縁として、演歌界も活躍しました。松谷 卓の音楽活動について語る。

## 仲田 恭子 (67回)

しては自分を振り返ると、恋も勉強もかなり経験した。仲田 恭子の高校時代の思い出を振り返る。